

高座清掃施設組合 平成31年度予算

◆◇◆ 一般会計の予算規模 ◆◇◆

総額 24億3,239万9千円(前年度比78.4%減)

平成30年度に新ごみ処理施設の更新が完了したことにより、平成31年度からは、「高座クリーンセンター」として運営がスタートし、施設の管理・運営・整備事業を特別目的会社（以下「SPC」という。）が行います。

また、周辺環境整備事業については、現在、整備工事中の(仮称)本郷公園の第一工区が完成し、供用開始の予定となっています。

平成31年度当初予算編成にあたり、組合は、次の3点を主たる取組としました。

- 1 新ごみ処理施設の適切な運営と既存施設の解体撤去
- 2 周辺環境整備の着実な執行
- 3 既存施設及び公園の適正な管理

新ごみ処理施設の稼働開始にあたり、SPCとの契約内容を精査し、適切な施設の運営に係る経費について、計上が過剰又は欠落することがないように計上いたしました。また、運転停止した既存施設の解体撤去に係る財源確保を検討し、段階的・計画的に実行するべく必要最小限の計上にとどめ、経費の削減に努めました。

周辺環境整備事業については、平成26年度から平成35年度までの長期にわたる事業であることから周辺環境整備事業の整備期間中は、構成三市の厳しい財政状況をさらに圧迫する恐れがあるため、国費の確実な獲得に努めるとともに、確実に実施できる範囲で予算計上することで財政負担を低減、平準化を行いました。

既存施設及び公園の適正な管理については、施設の維持保全、老朽化に伴う安全対策に十分留意し、安全、適正に運営を行うものとし、(仮称)本郷公園の維持管理については、供用開始初年度となることから、必要となる業務の内容と経費を精査し、計上しました。

○予算規模について

平成31年度の一般会計当初予算の予算規模は、24億3,239万9千円となり、平成30年度と比較して88億276万4千円の減(78.4%)となりました。減額した理由は、平成30年度に新ごみ処理施設建設事業が完了したことによるものです。

○当初予算の概要

平成31年度当初予算は、新ごみ処理施設の管理・運営をSPCに委託する費用を計上しました。

また、前年度から引き続き(仮称)本郷公園整備事業として、整備工事(第一工区)を計上したほか、水処理施設、本郷老人福祉センター及び屋内温水プール等の維持管理費を計上しました。

○一般会計歳入予算の状況

分担金 14億2,874万7千円は、新ごみ処理施設の管理・運営をSPCに委託したことにより運営費分担金の減、新ごみ処理施設建設事業が完了したことによる建設費分担金の減、新ごみ処理施設建設事業完了に伴い構成三市からの職員派遣終了による人件費分担金の減、周辺環境整備事業の進捗による周辺環境整備費分担金の減により、対前年度2億5,252万3千円(15.0%)の減額となりました。

使用料及び手数料 3億9,967万1千円は、衛生手数料を減額したため、対前年度579万円(1.4%)の減額となりました。

国庫支出金1億6,969万8千円は、周辺環境整備事業に充てる国からの補助金を計上しましたが、新ごみ処理施設建設事業に充てていた国からの補助金及び交付金が事業完了に伴い皆減したことから、対前年度27億3,907万9千円(94.2%)の減額となりました。

県支出金1,765万5千円についても、周辺環境整備に充てる県補助金を計上しましたが、新ごみ処理施設建設事業完了に伴う県補助金が皆減したことにより、対前年度2億8,234万5千円(94.1%)の減額となりました。

繰越金2億円は、平成29年度決算額及び平成30年度歳入歳出執行見込みにより、対前年度と同額となりました。

組合債2億1,620万円は、新ごみ処理施設建設事業完了に伴い一般廃棄物処理事業債等の借入れが皆減となり、対前年度55億2,310万円(96.2%)の減額となりました。

○一般会計歳出予算の状況

総務費3億6,403万1千円は、対前年度6,513万7千円(15.2%)の減額となりました。主たる理由として、一般管理費3億1,104万2千円は、退職者に伴う減、構成三市からの派遣職員終了に伴う負担金の減等により対前年度6,634万3千円(17.6%)減額し、企画費1,856万円において、ごみ処理施設更新に伴う生活環境影響事後調査業務及び旧施設解体予備調査業務の実施により対前年度1,046万円(129.1%)増額となりましたが、総務費全体としては減額しています。

衛生費13億1,522万2千円は、対前年度90億2,578万3千円(87.3%)の減額となりました。主たる理由として、清掃総務費4億1,020万円は、職員の減及び新ごみ処理施設稼働開始に伴う旧ごみ処理施設の光熱水費の減等により対前年度1億6,986万8千円(29.3%)減額し、塵芥処理費8億6,092万2千円は、旧ごみ処理施設の維持管理経費は減額しましたが、新たにSPCによる新ごみ処理施設の運転・維持管理費用が増額となったことから対前年度1,566万7千円(1.9%)増額しましたが、新ごみ処理施設建設事業の完了によりごみ処理施設建設費88億7,592万1千円が皆減となり、衛生費全体としては減額しています。

土木費4億2,196万6千円は、継続事業2年目となる周辺環境整備工事(第一工区)の増、第二工区の用地購入へ向けた不動産鑑定業務、補償費算定業務等により、対前年度2億3,331万8千円(123.7%)の増額となりました。

公債費1億5,489万5千円は、新ごみ処理施設建設事業及び周辺環境整備事業に伴う償還金の増により、対前年度5,908万1千円(61.7%)の増額となりました。

		平成31年度		平成30年度		比較	
科 目		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
		1 分担金及び負担金	1,428,747	58.7%	1,681,270	15.0%	△ 252,523
2 使用料及び手数料	399,671	16.4%	405,461	3.6%	△ 5,790	△ 1.4%	
3 国庫支出金	169,698	7.0%	2,908,777	25.9%	△ 2,739,079	△ 94.2%	
4 県支出金	17,655	0.7%	300,000	2.6%	△ 282,345	△ 94.1%	
5 繰越金	200,000	8.2%	200,000	1.8%	0	0.0%	
6 諸収入	428	0.1%	355	0.0%	73	20.6%	
7 組合債	216,200	8.9%	5,739,300	51.1%	△ 5,523,100	△ 96.2%	
歳入合計	2,432,399	100.0%	11,235,163	100.0%	△ 8,802,764	△ 78.4%	

		平成31年度		平成30年度		比較	
科 目		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
		1 議会費	1,220	0.1%	1,259	0.0%	△ 39
2 総務費	364,031	15.0%	429,168	3.8%	△ 65,137	△ 15.2%	
3 民生費	24,630	1.0%	24,199	0.2%	431	1.8%	
4 衛生費	1,315,222	54.1%	10,341,005	92.0%	△ 9,025,783	△ 87.3%	
5 土木費	421,966	17.3%	188,648	1.7%	233,318	123.7%	
6 教育費	120,435	4.9%	125,070	1.1%	△ 4,635	△ 3.7%	
7 公債費	154,895	6.4%	95,814	0.9%	59,081	61.7%	
8 予備費	30,000	1.2%	30,000	0.3%	0	0.0%	
歳出合計	2,432,399	100.0%	11,235,163	100.0%	△ 8,802,764	△ 78.4%	

平成30年度 一般会計予算執行状況

平成30年度高座清掃施設組合の当初予算は、112億3,516万3千円でしたが、補正及び前年度繰越額を加え114億4,915万5,200円となりました。

○歳入予算の執行状況について

歳入予算の予算現額に対する平成31年3月31日現在の執行状況は、予算現額に対し88.3%・101億1,103万3,646円となっています。平成31年3月31日現在において、新ごみ処理施設建設工事に係る補助金等の特定財源（国庫支出金、県支出金）及び周辺整備事業に伴う特定財源（国庫支出金）が出納整理期間に収入されるためです。

○歳出予算の執行状況について

歳出予算の予算現額に対する平成31年3月31日現在の執行状況は、51.5%・58億9,770万415円となっています。3月末において執行率が低いものの主な理由としては、衛生費においては、新ごみ処理施設建設工事、土木費は、（仮称）本郷公園整備工事（第一工区）の履行期間が年度末となっているためです。

歳入（平成31年3月31日現在）（単位：円）

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越財源充当額	予算現額 A	収入済額 B	執行率 B/A (%)
1 分担金及び負担金	1,681,270,000	0	0	1,681,270,000	1,681,270,000	100.0
2 使用料及び手数料	405,461,000	0	0	405,461,000	416,367,215	102.7
3 国庫支出金	2,908,777,000	0	1,689,000	2,910,466,000	2,113,743,000	72.6
4 県支出金	300,000,000	0	0	300,000,000	0	0.0
5 繰越金	200,000,000	197,013,000	9,390,200	406,403,200	406,403,234	100.0
6 諸収入	355,000	0	0	355,000	350,197	98.6
7 組合債	5,739,300,000	0	5,900,000	5,745,200,000	5,492,900,000	95.6
歳入合計	11,235,163,000	197,013,000	16,979,200	11,449,155,200	10,111,033,646	88.3

歳出（平成31年3月31日現在）（単位：円）

科目	当初予算額	補正予算額等	継続費等繰越財源充当額	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A (%)
1 議会費	1,259,000	0	0	1,259,000	988,910	78.5
2 総務費	429,168,000	2,760,000	4,903,200	436,831,200	313,689,845	71.8
3 民生費	24,199,000	0	0	24,199,000	21,966,472	90.8
4 衛生費	10,341,005,000	7,440,000		10,348,445,000	5,303,898,614	51.3
5 土木費	188,648,000	0	12,076,000	200,724,000	101,579,712	50.6
6 教育費	125,070,000	0	0	125,070,000	87,276,556	69.8
7 公債費	95,814,000	0	0	95,814,000	68,300,306	71.3
8 予備費	30,000,000	186,813,000	0	216,813,000	0	0.0
歳出合計	11,235,163,000	197,013,000	16,979,200	11,449,155,200	5,897,700,415	51.5

○組合債現在高（単位：円）

事業	平成30年9月30日	平成30年10月1日～平成31年3月31日		平成31年3月31日
	現在高	借入額	元金償還額	現在高
一般廃棄物処理事業債	5,582,945,377	3,626,900,000	12,576,979	9,197,268,398
一般補助施設整備等事業債	165,900,000	1,126,000,000	0	1,291,900,000
公共事業等債	132,522,331	1,200,000	3,309,086	130,413,245
一般事業債	156,162,500	0	4,114,500	152,048,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	323,600,000	738,800,000	21,452,778	1,040,947,222
合計	6,361,130,208	5,492,900,000	41,453,343	11,812,576,865

新ごみ処理施設建設事業及び周辺環境整備事業に伴い平成30年度に借入れた内訳は、一般廃棄物処理事業債2件、一般補助施設整備等事業債1件、公共事業等債1件、神奈川県市町村振興資金貸付金1件となり、借入件数は、一般廃棄物処理事業債9件、一般補助施設整備等事業債2件、公共事業等債2件、一般事業債4件、神奈川県市町村振興資金貸付金2件の計19件となりました。組合債現在高は、118億1,257万6,865円となりました。

なお、平成30年度の借入決定のうち借入が平成31年4月1日以降となる一般廃棄物処理事業債2件(69,000,000円)、一般補助施設整備等事業債2件(111,400,000円)、地方道路等整備事業債1件(21,500,000円)、公共事業等債1件(23,300,000円)、一般事業債2件(6,800,000円)は平成31年3月31日現在高には含めていません。これらを合計した組合債現在高は、120億4,457万6,865円となります。

○財産（平成31年3月31日現在）（単位：㎡）

区分	土地	建物
清掃処理場	56,871.83	33,079.77
老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,137.71	453.23
(仮称)本郷公園	11,283.42	0.00
合計	75,885.43	34,312.09

平成30年度の土地は、(仮称)本郷公園について、周辺環境整備事業に係る事業予定地の買収により、前年度比較で245.35㎡の増となりました。

また、建物は、清掃処理場について、新ごみ処理施設完成に伴い増となり、新ごみ処理施設建設事業に係る焼却灰積替保管施設及び計量室の解体がありましたが、前年度比較で18,420.49㎡の増となりました。

○本郷老人福祉センター

	平成30年度		平成29年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
海老名市	4,066人	54.5%	4,027人	52.9%	39人	1.0%
座間市	1,273人	17.1%	1,420人	18.7%	△147人	△10.4%
綾瀬市	2,117人	28.4%	2,161人	28.4%	△44人	△2.0%
合計	7,456人	100.0%	7,608人	100.0%	△152人	△2.0%

○高座施設組合屋内温水プール

	平成30年度		平成29年度		比較	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合	増減	伸率
男性	75,993人	52.3%	74,267人	52.5%	1,726人	2.3%
女性	69,176人	47.7%	67,066人	47.5%	2,110人	3.1%
合計	145,169人	100.0%	141,333人	100.0%	3,836人	2.7%

平成30年度における余熱利用施設の利用状況は、本郷老人福祉センターが7,456人（対前年度2.0%・152人の減）となり、高座施設組合屋内温水プールは145,169人（対前年度2.7%・3,836人の増）となりました。